

## むかわ町は「非核平和の町」を宣言しました

地球上には未だに地域紛争が続き、北朝鮮による弾道ミサイルが北海道上空を通過する等住民に不安を与える状況が続いていますが、その反面核兵器禁止条約が国連で採択され、本町も加盟している平和首長会議では核兵器廃絶を目指す 2020 ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)が取組まれるなど世界平和への機運が高まっています。

むかわ町はこれらを契機として、世界で唯一の被爆体験国・70年の歳月を過ぎても癒えない核兵器の非人道性を訴えるとともに、自治体、国を越えた連帯により、清流と健康の町宣言に示された豊かな自然と町民の健やかな暮らしを後世に引き継ぐため、自治体としての決意を示し、町民みなさんの意識の高揚を図ることを目的として、パブリックコメントのほかまちづくり委員会や町議会との意見交換を経て、2017年(平成29年)12月13日に「非核平和の町」を宣言しました。



### 非核平和の町宣言

世界の恒久平和は人類共通の願いです。

地球上では、未だに地域紛争が後を絶たず、核兵器開発を中心とした大量破壊兵器の拡散が懸念されています。

私たちは、唯一の被爆国として日本国憲法の掲げる恒久平和の崇高な理念のもと、核兵器廃絶と戦争回避の活動により、平和文化を構築していく責務があります。

豊かな森林に囲まれ、清流鶴川が雄大な太平洋にそそぐ大自然の中で、健やかに生き活きと暮らし続けることを願うむかわ町は、恒久平和の実現に寄与するために、自治体や国の垣根を越えて連帯し、核兵器の根絶と平和に向けて努力することを誓い、「非核平和の町」を宣言します。

2017年(平成29年)12月13日

むかわ町

